



山脇学園 高校3年
 学年通信 第4号
 2025年7月2日(水)発行

お知らせとお願い

7月の予定		
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	1学期期末考査
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	11:00～ 共通テストガイダンス
9	水	生徒登校禁止日
10	木	生徒登校禁止日
11	金	答案返却日 11:00～ 女子大進学相談会
12	土	探究日
13	日	
14	月	探究日
15	火	探究日
16	水	探究日
17	木	探究日
18	金	探究日
19	土	終業式・HR・大掃除
20	日	
21	月	海の日
22	火	夏期講習 第1ターム
23	水	
24	木	
25	金	夏期講習 第2ターム
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	夏期講習 第3ターム
30	水	
31	木	

高校3年生の7月、夏休みという自分と向き合う時間が長くなる期間に突入する皆さんへ、ゴッホのこの言葉を送ります。

「もし『お前には描けない』という心の声が聞こえたら、とにかく描きなさい。すると、その声は沈黙する」

人の心が折れそうになるときは、負担が大きいかかったときよりも、報われないのではと不安になったときだそうです。そして、不安になるときはいつも足が止まっているときです。ゴッホは死後に絵が評価されるようになったと言われています。今でこそとても有名な画家ですが、彼は自分が生きている間は自分が評価されることを知りません。

自分が報われる日が来ることを知らなかったゴッホは、きっと「お前には描けない」という言葉と日々戦っていたのでしょう。でも彼は決して筆を持つことをやめなかったのです。足を止めることはなかったのです。皆さんの先輩にあたる山脇のOGもこのように言っていました。「勉強していないときに不安は大きくなる。単語1つでも化学式1つでも覚えている間は不安が小さくなる。だから私は不安になったら単語帳を開きます、不安になったら音読をします。先のことを考えるのをやめて、作業を始めます。この時期は遊んでいてもどこか頭の片隅で『それでいいのか?』という声が聞こえて心から楽しめない、その声が聞こえている間は不安が大きくなる。だから、今日から全力で足を動かし続けます。」と夏休み前に宣言していました。

このOGの言葉が、夏休みを目の前にしたみなさんの勇気になることを祈っています。頑張れ。

7月8日(火) 共通テストガイダンス(生徒・保護者対象)

7月8日(火)11:00～12:30に講堂にて、共通テストについてのガイダンスを行います。2026年度共通テストより変更点がございます。お忙しいことと存じますが、保護者の方もご参加いただけますようお願いいたします。

また、7月8日(火)は考査最終日となります。考査最終日までに教室の荷物を持ち帰りましょう。今年度は探究日中に業者による教室点検が行われますので、8日にクローゼットを空にしましょう。ハンガーは自分のロッカー内にしまっておいてください。

7月11日(金) 答案返却日について

7月11日(金)は答案返却日です。登校日となります。時間に遅れずに登校しましょう。答案の訂正は、**訂正可能時間のみ可能**です。訂正時間が終わってから、もしくは家に帰ってから間違いに気が付いても訂正に応じることができませんので注意しましょう。

7月11日(金) 女子大学進学説明会について

7月11日(金)11:00～女子大学進学相談会を校内で行います。

保護者の皆様には6月11日の安心でんしょぼとでもお知らせいたしましたが、参加大学はお茶の水女子大学・津田塾大学・日本女子大学・聖心女子大学となりました。当日のスケジュールは以下の通りです。

- 11:00～11:30 女子大パネルトーク
- 11:40～12:10 説明会第1部
- 12:20～12:50 説明会第2部

「女子大パネルトーク」は全員参加です。「説明会」については、6月中にフォームを通じて選択した女子大の説明会をそれぞれが聞く形になります。

生徒の皆さんには、志望校として説明を聞くのはもちろんのこと、併願校の選択肢を広げる一助にもなると思いますので、しっかりと説明会に参加して自分の視野を広げていきましょう。

7月19日(土)終業式・7月の探究日について

7月19日(土)は一学期終業式です。第二制服、正カバンで登校してください。学年章・校章も忘れないようにしましょう。終業式後は大掃除となりますので、体操着を持参してください。

考査最終日の7月8日(火)から終業式までは9日間の探究日および休日があります。1か月間続く夏休みに高い集中力を発揮するためにも、この9日間を計画的に過ごすことが大切です。学校がない日の受験生の平均勉強時間12時間です。また、共通テストでは3科型の受験の生徒でも10:40～18:20までテストを続けて受験することになりますので、それに耐えうる集中力を付けてほしいと思います。

三者面談について

6月に実施いたしましたアンケートへご協力いただきありがとうございました。ご回答いただきました日程をもとに、7月8日(火)までには面談日程をお知らせいたします。

8月24日(日)河合全統記述模試について

8月24日(日)に実施される河合の全統記述模試は会場受験です。6月中に学校で取りまとめて受験申込をいたしました。受験票は本日7月2日のHRにてお渡しいたしました。会場は確定しており、日本大学経済学部3号館(最寄り:神保町駅・水道橋駅)です。試験範囲や時間、配点は河合塾のHPで確認ができます。

<https://www.kawai-juku.ac.jp/zento/lineup/gd3/kijutsu02/>

6月18日(水)OG講演会を行いました

6月18日(水)5・6限で、OG講演会を行いました。昨年度の卒業生の受験体験記を聞くことで、改めて自身の受験について考える機会となり、気持ちが引き締まった生徒が多かったようです。

【文系】

文系では5・6限の時間で3名の卒業生に講演を行っていただきました。受験期までにやってよかった勉強法、やらなければよかったことなどについて話をしてくれました。

3名の卒業生が口をそろえて言っていたのは「とにかく基礎を固めることが大事」ということです。単語や文法など基礎が入っていないまま難易度の高い参考書に挑戦して不安を募らせたことを後悔していると話してくれた卒業生もいました。授業中にしっかり起きて目の前の課題に取り組み、解説を聞くことを何よりも大切にしていきたいと思います。

勉強時間については休日は10時間～12時間、平日は6時間程度は勉強をしていたそうです。自分が勉強した時間や勉強内容を記録することで、受験当日に「これだけやったんだから絶対に大丈夫」という根拠のある自信につながると話してくれました。

なによりも「最後まで諦めないこと」を大切に受験期を乗り切ってほしいという強いメッセージをくれました。

先輩たちの思いを受け止めて、ぜひ高校3年生の残り半年を走り切ってほしいと思います。

【文系 生徒の感想】

先輩方が話してくださった内容はどれも参考になる点がたくさんありましたが、中でも英検についてのお話が特に印象に残りました。私も早めにスコアを取り、受験に活かせるよう計画的に準備していきたいです。また、これからの受験勉強で大切なのは、諦めずに自分を信じ続けることだと感じました。後悔のない受験を迎えるために、最後まで全力で頑張りたいです。

【理系】

理系は、2人のOGの話を書きました。夏休みにやること、モチベーションの保ち方、気分転換の方法、各教科の学習方法と多岐にわたりました。4月からのスタートダッシュは切れたものの、定期考査、模試と続いている中で少し息切れ気味になっている生徒たちにとっては、再度奮い立つきっかけになったように思います。

6限はグループに分かれて座談会を行いました。そこでは、大学の様子を聞いている姿も見られましたが、自分の苦手としている科目の勉強の仕方、小論文や面接の対策をいつ始めたのかなど自身が不安に思っていることを聞いている姿も見られました。

受験本番の休み時間の過ごし方もとても参考になったようです。どのOGも「苦手を克服すること。」「基本を網羅すること。」「ルーティン化すること。」がとても大切だと語っていました。

【理系 生徒の感想】

・OG講演会を通して、受験に向けての勉強方法やモチベーションの保ち方について聞くことができ、とても参考になった。特に、計画を立ててやるべきことを明確にすることの大切さを学び、今後の勉強に活かしていきたい。

・5限に受験体験談を聞いて、しっかり計画を立てて夏休みを迎えようと思いました。後悔のない夏になるように全力で頑張ります！

・6限の年内入試の体験談では、精神的なことなど体験しないとわからない情報がたくさんありとても有意義な時間でした。余裕を持って書類を提出できるよう、今すぐ動き出します！

6月25日(水)学年HR・中央大学出張講座(文系)・教員によるキャリア講演(理系)を行いました

6月25日(水)5限に進路ガイダンスを実施し、6限は文理に分かれて文系は中央大学講演会を、理系は教員によるキャリア講演会を行いました。

【5限 進路ガイダンス】

5限は学習進路担当の飯川先生から夏休みの勉強に向けてのポイントを話していただきました。

勉強は筋トレと同じ！決して付け焼き刃でどうにかなるものではありません。学年の先生たちからの話をしっかりと受け止めて、「受験生」としての意識と自覚を持って夏休みを過ごしましょう。

皆さん1人ひとりが、自分の志を叶えることができる道へ進んでいけることを、学年の教員一同願っています。

【文系:6限 中央大学文学部 講演会】

中央大学 文学部 ドイツ語文学文化専攻の縄田先生にご講演いただきました。

文学部の沿革や文学部領域の本質、中央大学の文学部の特徴についてご説明いただいたうえで、ドイツ語文学文化専攻の学習内容についてもお話いただきました。

大学内でCEFRに依るドイツ語試験を実施することができる数少ない大学で、学習内容はドイツ語の学習を柱として言語学や文学研究、演劇学、地域研究にまで及び、広く深く学ぶことができるのが特徴です。

高校3年生の夏前に、大学の先生からの専門分野についてのお話を伺うことができ、生徒の皆さんにとっては、自分の視野を広げる一助になったのではないのでしょうか。

受験は勉強量だけではなく、どのように自分の困難に向き合ったかという人間力も問われます。何事にも興味と関心を持ち、広い見識を持ってほしいと思います。

【理系:6限 教員によるキャリア講演会】

6時間目、理系クラスは「大学で何を学んでいたか」、「どのように職業を選んだのか」をテーマに2人の先生から話を伺いました。

数学科の渡辺先生からは、「大学で学ぶ数学について」と「就職について」を伺いました。大学で学ぶ数学は高校までで学ぶ数学に比べて抽象的な思考が増えるなど、その違いを興味深そうに聞いていました。就職については、企業説明会やインターンといった就職活動についてや、院に進学し研究を続けながら企業で勤務する形もあるということをお話いただきました。

理科の水津先生からは、「勉強や研究は何のためにするのか」を伺いました。「ただ知りたい」「研究をすることが楽しい」だけでなく、「どう社会に寄与するか」、「問題解決にどう導くか」を考えることが必要だという話を生徒は真剣に聞いていました。

未来の自分を見据えて、「すべてのことに向き合い、アンテナを広く張ること」「知識や経験を積極的に吸収すること」「少しずつでもステップアップすること」が大切だと伺いました。

【6月18日の講演会・座談会の様子】

